

実務経験のある教員の主な授業科目の一覧表

配当学年	授業科目名	単位数	区分	担当教員	職位	実務経験	実務経験の授業等への活用
2	療養援助技術	2	必修	渋谷 寛美	教授	看護師	医療機関での看護業務を通して得られた実務経験をもとに、 診断・治療における療養支援に関わる講義及び演習を行う。
				鈴木 浩美	准教授	看護師	
				佐藤 直子	専任講師	看護師	
				八田 史絵	助教	看護師	
2 3	母性看護支援論Ⅰ 母性看護支援論Ⅱ	1 1	必修	坂本めぐみ	教授	助産師	実践的な母性看護技術や心理社会的な支援技術を授業に組み入れ、 具体的な援助技術は助産師としての実務経験を活かす。
		櫻井 薫		専任講師	看護師・助産師		
		渡部 加恵		専任講師	助産師		
2	小児看護支援論Ⅰ	1	必修	茂手木明美	教授	看護師	看護師実務経験に基づき、小児看護の実践に必要な知識・技術の 基本について指導する。
				井上 寛隆	専任講師	看護師	
				坂田 徳生	専任講師	看護師	
3	成人看護学実習Ⅰ	3	必修	高橋 幸子	教授	看護師	臨床現場における看護実践を基に、慢性期患者への 看護実践と多職種連携について指導する。
				森川奈緒美	准教授	看護師	
				大和 広美	専任講師	看護師	
				関根みぎわ	助教	看護師	
				保坂 嘉成	助教	看護師	
2	老年看護支援論Ⅱ	1	必修	飯室 淳子	准教授	看護師	臨床現場における経験を基に、老年看護支援論Ⅱの 実践的理解を促進するように取り組み・指導する。
				祥雲 直樹	専任講師	看護師	
				阿部祐美子	助教	看護師	
				松岡志津香	助手	看護師	
3	在宅看護支援論	2	必修	小松 妙子	教授	看護師	在宅看護の経験を活かし、地域連携や家族支援の 実践的な内容で講義・演習を展開する。
				日野 徳子	専任講師	看護師	
3	精神看護支援論Ⅰ 精神看護支援論Ⅱ	1 1	必修	石川 幸代	教授	看護師	臨床における精神看護の実践経験をもとに、 （精神看護支援論Ⅰ）必要な知識・技術の基本について指導する。 （精神看護支援論Ⅱ）精神機能、セルフケアのアセスメントを中心に指導する。
				原田 瞳	専任講師	看護師	
				笠井 翔太	専任講師	看護師	
2	公衆衛生看護活動論Ⅰ	2	必修	神庭 純子	教授	保健師	行政における保健師としての経験を基に公衆衛生看護活動を 展開するための知識技術を実践的に指導する。
				伊藤千春	准教授	看護師・保健師	
				霜山 薫	専任講師	保健師	
				石井 可奈	助教	看護師・保健師	
主な授業単位数 合計		15					

授業形態	開講学部	看護		必修	2単位	演習	
	2年次	開講期	前期	ディスカッション	有	学外授業	無
授 業 科 目 （ 英 名 ）	療養援助技術(Basic Clinical Nursing Skill)						
担 当 教 員 名	◎渋谷 寛美・佐藤 直子・鈴木 浩美・八田 史絵・岡田 信子〔兼任〕 （◎は科目責任者）						
〔 授業の概要 〕 看護は、人間の生活を全人的に支えることを基盤として成り立つ実践であり、人間の生活過程を営む3つの力：①生命を維持する力ー循環・呼吸・体温、②生活習慣を獲得し、発展させる力ー運動・休息・食・排泄・清潔・衣、③社会関係を維持・発展させる力ー労働（学修）・性・環境に注目し療養援助をしていく必要がある。本科目では療養生活を送る人の健康を促進するために必要な日常生活の援助技術と診断・治療過程における看護技術について基本的な知識・技術を学修する。							
〔 科目の位置付け（全学年を通しての関連科目） 〕 専門科目の支援基礎看護分野に位置づく科目です。支援基礎看護分野の生活援助技術やヘルスアセスメントⅠ・Ⅱと深い関連があります。							
〔 到達目標 〕 看護技術の本質の理解と共通基本技術・生活援助技術の修得に基づいて、以下を目指して学修する。 1. 臨床の様々な状況の中でどのように看護技術が実践されるのか、看護者・患者双方の体験を通じて看護の役割を学修する。 2. 療養する対象の生活過程の変化を理解し、健康な生活をつくり出すために必要な看護援助技術を学修する。 3. 診断・治療過程にある人に対して、看護するために必要な援助技術を、安全・安楽・自立の視点から学修する。							
回	授業計画			授業外学修 （事前学修・事後学修）		担当者	
1	1. 療養援助技術の基礎【講義】 1) 療養援助技術とは何か 2) 療養生活の特徴（病気・障害を抱えた人の生活の特殊性） 3) 療養援助技術の役割と目的（診断・治療との関連）			事前学修(30分)：生活援助技術の授業内容を復習し、シラバスを読み本科目の学修内容を確認する。 事後学修(60分)：授業資料を用いて学修を復習する。		渋谷	
2	2. 診断・治療過程が療養生活に与える影響【講義】 1) 診断・治療過程とは何か（医療の流れと看護の関わり） 2) 診断・治療が療養生活に与える影響（身体的・心理的・社会的側面） 3) 診断・治療過程をふまえた療養援助の実際（症状管理・環境調整・患者支援）			事前学修(30分)：事前課題に取り組み、授業内容を予習する。 事後学修(60分)：授業資料を用いて学修を復習する。		渋谷	
3	感染の予防のための看護技術【講義】			事前学修(30分)：事前課題に取り組み、授業内容を予習する。 事後学修(60分)：授業資料を用いて学修を復習する。		鈴木	
4・5	感染予防の技術：滅菌手袋の着脱・滅菌物の取り扱い【演習】			事前学修(60分)：事前課題に取り組み、授業内容を予習する。 事後学修(120分)：授業資料を用いて学修を復習し自己練習する。		鈴木・渋谷・佐藤・八田	
6	1) 診断・治療過程における検査の目的と種類 2) 検査時における看護の果たす役割 3) 生体検査における検査の目的と種類 4) 生体検査時における看護の果たす役割 【講義】			事前学修(30分)：事前課題に取り組み、授業内容を予習する。 事後学修(60分)：授業資料を用いて学修を復習する。		渋谷	
7	1) 生体検査を受ける人の生活を支援するための看護援助 2) 生体検査を安全・安楽に実施するための看護援助の実際【講義】			事前学修(30分)：事前課題に取り組み、授業内容を予習する。 事後学修(60分)：授業資料を用いて学修を復習する。		渋谷	
8	1) 検体検査を受ける人の生活を支援するための看護援助 2) 検体検査を安全・安楽に実施するための看護援助の実際【講義】			事前学修(30分)：事前課題に取り組み、授業内容を予習する。 事後学修(60分)：授業資料を用いて学修を復習する。		佐藤	
9・10	検査の技術：静脈血採血【演習】			事前学修(60分)：事前課題に取り組み、授業内容を予習する。 事後学修(120分)：授業資料を用いて学修を復習し自己練習する。		佐藤・渋谷・鈴木・八田・ゲスト講師	
11	1) 薬物療法とは、薬物療法における看護の役割 2) 薬物療法が患者に及ぼす影響 3) 薬物療法を受ける人の生活を支える看護【講義】			事前学修(30分)：事前課題に取り組み、授業内容を予習する。 事後学修(60分)：授業資料を用いて学修を復習する。		渋谷	
12	各種薬物療法の実際と看護援助【講義】			事前学修(30分)：事前課題に取り組み、授業内容を予習する。 事後学修(60分)：授業資料を用いて学修を復習する。		渋谷	
13	1) 注射法を受ける患者の援助 2) 各種注射に共通する実施方法【講義】			事前学修(30分)：事前課題に取り組み、授業内容を予習する。 事後学修(60分)：授業資料を用いて学修を復習する。		佐藤	
14・15	与薬の技術：皮下注射・筋肉内注射【演習】			事前学修(60分)：事前課題に取り組み、授業内容を予習する。 事後学修(120分)：授業資料を用いて学修を復習し自己練習する。		佐藤・渋谷・鈴木・八田・ゲスト講師	
16	与薬の技術：点滴静脈内注射【演習】			事前学修(30分)：事前課題に取り組み、授業内容を予習する。 事後学修(60分)：授業資料を用いて学修を復習し自己練習する。		佐藤・渋谷・鈴木・八田・ゲスト講師	
17	循環・体温が障害された療養患者の生活とは【講義】			事前学修(30分)：事前課題に取り組み、授業内容を予習する。 事後学修(60分)：授業資料を用いて学修を復習する。		渋谷	

18	循環・体温が障害された療養患者の生活を整える技術【講義】	事前学修(30分)：事前課題に取り組み、授業内容を予習する。 事後学修(60分)：授業資料を用いて学修を復習する。	渋谷
19	呼吸が障害された療養患者の生活とは【講義】	事前学修(30分)：事前課題に取り組み、授業内容を予習する。 事後学修(60分)：授業資料を用いて学修を復習する。	渋谷
20	1)呼吸が障害された療養患者の生活を整える技術【講義】 2)呼吸を整える技術：呼吸を楽にする体位・酸素療法	事前学修(30分)：事前課題に取り組み、授業内容を予習する。 事後学修(60分)：授業資料を用いて学修を復習する。	渋谷
21・22	呼吸を整える技術：吸引、酸素吸入【演習】	事前学修(60分)：事前課題に取り組み、授業内容を予習する。 事後学修(120分)：授業資料を用いて学修を復習し自己練習する。	渋谷・佐藤・鈴木・八田
23	1)食が障害された療養患者の生活とは 2)食が障害された療養患者の生活を整える技術 3)食を整える技術：経管栄養【講義】	事前学修(30分)：事前課題に取り組み、授業内容を予習する。 事後学修(60分)：授業資料を用いて学修を復習する。	岡田
24・25	1)排泄が障害された療養患者の生活とは 2)排泄が障害された療養患者の生活を整える技術【講義】	事前学修(60分)：事前課題に取り組み、授業内容を予習する。 事後学修(120分)：授業資料を用いて学修を復習する。	岡田
26・27	排泄を整える技術：一時的導尿・浣腸【演習】	事前学修(60分)：事前課題に取り組み、授業内容を予習する。 事後学修(120分)：授業資料を用いて学修を復習し自己練習する。	岡田・渋谷・佐藤・鈴木・八田
28	輸血を行う人の生活を支える看護援助【講義】	事前学修(30分)：事前課題に取り組み、授業内容を予習する。 事後学修(60分)：授業資料を用いて学修を復習する。	渋谷
29	包帯法【講義・演習】	事前学修(30分)：事前課題に取り組み、授業内容を予習する。 事後学修(60分)：授業資料を用いて学修を復習し自己練習する。	渋谷・佐藤・鈴木・八田
30	死亡時のケア・まとめ【講義】	事前学修(30分)：事前課題に取り組み、授業内容を予習する。 事後学修(60分)：科目の学修を復習し、自己の課題を見出す。	渋谷
成績評価の方法と基準		1.参加状況・課題への取り組み(30%) 2.筆記試験(70%) 1～2を総合して評価する。	
履修上の留意点		事前の学修と本授業と事後学修はつながっている学修なので、そのつもりで授業に臨むこと。 演習の参加には事前学修の取り組みが必要である。 演習については、学内授業の開始時に、方法等を説明する。	
ディプロマ・ポリシーとの関連		本科目は、看護学部ディプロマポリシーの2、3、4と関連しています。	
教科書		1.角濱春美・梶谷佳子編著：看護実践のための根拠がわかる基礎看護技術 第3版、メヂカルフレンド社、2020。 2.薄井坦子著：看護のための疾病論 ナースが視る病気、講談社、1994。	
参考書・参考資料		1.川島みどり著：生活行動援助の技術 ありふれた営みを援助する専門性 第3版、看護の科学社、2014	
学生との連絡方法		授業に関する連絡は、Web対応授業支援システムへ掲載する。質問・相談は教員へメールを利用すること。研究室の訪問は主に授業開講日の昼休みとします。	
実務経験科目		医療機関での看護業務を通して得られた実務経験をもとに、診断・治療における療養支援に関わる講義及び演習を行う。	

授業形態	開講学部	看護学部		必修	1	講義・演習	
	2年次	開講期	後期	ディスカッション	有	学外授業	無
授 業 科 目 （ 英 名 ）	母性看護支援論Ⅰ（ Maternity Nursing Ⅰ ）						
担 当 教 員 名	◎坂本 めぐみ・櫻井 薫・渡部 加恵 （◎は科目責任者）						
[授業の概要] 妊娠・出産・子育てを、女性のライフサイクルにおける成熟期の発達課題として理解し、周産期のうち妊娠期・分娩期にある親子とその家族に対する支援について学修する。							
[科目の位置付け（全学年を通しての関連科目）] ヒューマンセクシュアリティ論、生涯発達論、母性看護学概論、母性看護学実習、病態治療学Ⅲ（小児、母性系）他							
[到達目標] 1） 妊娠・分娩の生理が理解できる。 2） 妊娠・分娩各期をよりよく過ごすための看護が理解できる。 3） 親子やその家族のライフスタイルに合わせた、その人らしい妊娠・出産と子育てまでを展望した支援を考える。 4） 知識を統合して、事例に必要な支援を導き出すプロセスが理解できる。 5） 対象への支援に必要な看護技術を学ぶ。							
回	授業計画			授業外学修 （事前学修・事後学修）		担当者	
1	[授業計画オリエンテーション・ガイダンス] [妊娠期小テスト] [演習 看護過程 妊娠期①]			事前学修(60分)：夏休みの課題を完成させ、妊娠期の看護に関する部分の教科書を精読する。妊娠・出産に関する一般図書を読み、妊娠・出産についてのイメージをもち、夏期休業中の課題や事前学習の知識が事例の理解に適用できるか確認する。過去に出題された妊娠期の看護に関する国家試験問題に取り組む。 事後学修(60分)：小テスト結果を振り返り、教科書等から不足していた知識を補う。授業内容を十分復習する。妊娠期の看護過程の特徴と必要性について復習する。		坂本	
2	【講義】 妊娠期の看護 1 身体的特性（妊娠の生理・妊娠による母体の生理的变化・胎児の発育と生理）			事前学修(30分)：教科書第3章を精読する。母性看護学概論・病態治療学Ⅲについても復習しておく。夏期休業中の課題とあわせ、妊娠・出産に関する一般図書を読み、学修内容の理解を深める。 事後学修（60分）：授業内容を十分復習する。興味や関心をもった箇所について文献を検索し調べてみる。		坂本	
3	【講義】 妊娠期の看護2 妊婦と胎児のアセスメントと看護① 妊娠経過とフィジカルアセスメント			事前学修(30分)：教科書第3章を精読する。母性看護学概論・病態治療学Ⅲについても復習しておく。夏期休業中の課題で不足していた部分を補うとともに、妊娠・出産に関する一般図書を読み、学修内容の理解を深める。 事後学修（60分）：授業内容を十分復習する。興味や関心をもった箇所について文献を検索し調べてみる。		坂本、櫻井、渡部	
4	【講義】 妊娠期の看護3 妊婦と胎児のアセスメントと看護② 妊娠経過と健康相談・健康教育			事前学修(30分)：教科書第3章を精読する。母性看護学概論・病態治療学Ⅲについても復習しておく。夏期休業中の課題で不足していた部分を補うとともに、妊娠・出産に関する一般図書を読み、学修内容の理解を深める。 事後学修（60分）：授業内容を十分復習する。興味や関心をもった箇所について文献を検索し調べてみる。		坂本	
5	【講義】 妊娠期の看護4 妊娠による心理社会的変化と看護 （出産・育児への準備期における看護）			事前学修(30分)：教科書第3章を精読する。母性看護学概論・病態治療学Ⅲについても復習しておく。夏期休業中の課題で不足していた部分を補うとともに、妊娠・出産に関する一般図書を読み、学修内容の理解を深める。 事後学修（60分）：授業内容を十分復習する。興味や関心をもった箇所について文献を検索し調べてみる。		坂本	

6	【演習】 妊娠期にある対象理解と看護技術 レオポルド触診法・妊婦健診・妊娠期の健康教育・妊婦体験 分娩期にある対象理解と看護技術 CTGの判読など	事前学修(30分)：教科書第3章を精読する。母性看護学概論・病態治療学Ⅲについても復習しておく。夏期休業中の課題とあわせ、妊娠・出産に関する一般図書や体験記エッセイなどを読み、学修内容の理解を深める。 事後学修(60分)：授業内容を十分復習する。興味や関心をもった箇所について文献を検索し調べてみる。指定された演習ノートの課題に取り組む。関連するDVDや動画を視聴し、イメージをもって望む。技術の根拠とする知識について、十分復習してから授業に臨む。技術演習にふさわしい身なりを整える。 事後学修(60分)：授業内容を十分復習する。授業時間内で経験できなかった部分について、動画を活用するなどイメージ学習を行う。質問がある場合には自ら質問して解決できるようにする。実習前に練習すべき課題を明確にする。	坂本、櫻井、渡部
7	【講義】 妊娠期の看護5 ハイリスク妊娠・異常妊娠妊婦の看護（妊娠期のマイナートラブル、ハイリスク妊娠、合併症妊娠、妊娠期の感染症、妊娠各期の異常と看護）	事前学修(30分)：教科書第7章、第3章を精読する。母性看護学概論・病態治療学Ⅲについても復習しておく。夏期休業中の課題で不足していた部分を補うとともに、妊娠・出産に関する一般図書を読み、学修内容の理解を深める。 事後学修(60分)：授業内容を十分復習する。興味や関心をもった箇所について文献を検索し調べてみる。	坂本
8	【演習】 妊娠期分娩期の看護アセスメント 看護過程 妊娠期② 分娩期①	事前学習(30分)：これまでに学修した知識を復習整理しておく。関連するDVDや動画を視聴し、イメージをもって望む。アセスメントの根拠とする知識について、十分復習してから授業に臨む。 事後学修(60分)：授業内容を十分復習する。授業時間内で取り組みきれなかった部分について、納得できるまで取り組み、質問がある場合には自ら質問して解決できるようにする。必要な文献を検索し調べてみる。	坂本
9	【小テスト②】分娩期の看護1 【演習】看護過程：分娩期②	事前学修(60分)：教科書第4章を精読する。夏期休業中の課題を見直す。出産に関する一般図書を読み、妊娠・出産についてのイメージをもつ。過去に出題された分娩期の看護に関する国家試験問題に取り組む。 事後学修(30分)：事後学修：小テスト結果を振り返り、教科書、講義内容から不足していた知識を補う。授業内容を十分復習する。	坂本、櫻井、渡部
10	【講義】 分娩期の看護1 分娩の要素 分娩の経過と生理 分娩が母体と胎児に及ぼす影響	事前学修(30分)：教科書第4章を精読する。母性看護学概論・病態治療学Ⅲについても復習しておく。夏期休業中の課題で不足していた部分を補うとともに、妊娠・出産に関する一般図書を読み、学修内容の理解を深める。 事後学修(60分)：授業内容を十分復習する。興味や関心をもった箇所について文献を検索し調べてみる。	坂本
11	【講義】 分娩期の看護2 分娩各期のアセスメントと看護 (分娩経過のアセスメント 心理社会的変化と看護)	事前学修(30分)：教科書第4章を精読する。母性看護学概論・病態治療学Ⅲについても復習しておく。夏期休業中の課題で不足していた部分を補うとともに、妊娠・出産に関する一般図書を読み、学修内容の理解を深める。 事後学修(60分)：授業内容を十分復習する。興味や関心をもった箇所について文献を検索し調べてみる。	坂本

12	【講義】 分娩期の看護3 分娩期の生理過程からの逸脱と看護① 産道の異常 娩出力の異常 胎児の異常	事前学修(30分)：教科書第4章および第7章を精読する。母性看護学概論・病態治療学Ⅲについても復習しておく。夏期休業中の課題で不足していた部分を補うとともに、妊娠・出産に関する一般図書を読み、学修内容の理解を深める。 事後学修(60分)：授業内容を十分復習する。興味や関心をもった箇所について文献を検索し調べてみる。産婦人科診療ガイドラインなどに目を通して見る。	坂本
13	【講義】 分娩期の看護4 分娩期の生理過程からの逸脱と看護② 産科処置を受ける産婦 (帝王切開無痛分娩)	事前学修(30分)：教科書第4章および第7章を精読する。母性看護学概論・病態治療学Ⅲについても復習しておく。夏期休業中の課題で不足していた部分を補うとともに、妊娠・出産に関する一般図書を読み、学修内容の理解を深める。 事後学修(60分)：授業内容を十分復習する。興味や関心をもった箇所について文献を検索し調べてみる。産婦人科診療ガイドラインなどに目を通して見る。	坂本
14	【演習・講義】看護過程 妊娠期③ 分娩期③	事前学習(30分)：これまでに学修した知識を復習整理しておく。関連するDVDや動画を視聴し、イメージをもって望む。アセスメントの根拠とする知識について、十分復習してから授業に臨む。 事後学修(60分)：授業内容を十分復習する。授業時間内で取り組みきれなかった部分について、納得できるまで取り組み、質問がある場合には自ら質問して解決できるようにする。必要な文献を検索し調べてみる。	坂本、櫻井、渡部
15	【演習・まとめ】 分娩期にある対象理解と看護技術 分娩期の看護技術 CTGの判読など 本科目のまとめ	事前学習(30分)：妊娠期・分娩期にある親子とその家族に対する支援について、到達目標を考えながら、不足している部分について補うとともに、理解不十分な箇所について、質問ができるようにする。 事後学修(60分)：演習内容を十分復習する。15回の授業の総括を行い、不足する学習を補って試験に臨む。	坂本
成績評価の方法と基準		事前課題20%、小テスト10%、提出物(看護過程)20%、定期試験50%、	
履修上の留意点		母性看護学概論で提示された事前課題に取り組んでから出席すること。この課題は、速やかに返却しますので、毎回の授業時に持参してください。各自で追加書き込みを行って、発展(発達)させてください。授業参加にあたっては基本的に事前学習をおこなって参加してください。 授業開始後20分以上の遅刻は欠席となります。遅刻(授業開始～20分未満)3回で1回の欠席扱いとします。援助を提供する当事者意識を高め、対象に前に立つことを意識して学びましょう。	
ディプロマ・ポリシーとの関連		本科目は、特にディプロマポリシーの4・3・8に関連します。専門職としての倫理的判断を持ち、自律性と協働の必要性を考えながら取り組んで下さい。根底にホスピタリティの基盤を忘れないことも重要です。	
教科書		森恵美 他：系統看護学講座専門Ⅱ 母性看護学各論・母性看護学[2]、医学書院、2025。 荒木奈緒 他：ナースングラフィカ母性看護学③、母性看護技術、メディカ出版、2024。	
参考書・参考資料		医療情報科学研究所編：病気がみえるVol. 10産科、メディックメディア、2018。 荒木勤：最新産科学＜正常編＞、文光堂、2008。 荒木勤：最新産科学＜異常編＞、文光堂、2008。 その他適宜授業内で紹介します。	
学生との連絡方法		授業は他学年の実習と並行して開講されます。できるだけアポイントメントを取ってください。 不在の時は、メールで受け付けます。 坂本 月(12:30～13:30)、(16:00～17:00) 櫻井 渡部 水(12:30～13:30) オフィスアワーとして設定し相談を受け付けます。	
実務経験科目		本科目は、実践的な母性看護技術や心理社会的な支援技術を授業に組み入れています。具体的な援助技術は助産師としての実務経験を活かしています。	

授業形態		開講学部	看護学部		必修	1	演習	
		3年次	開講期	前期	ディスカッション	有	学外授業	無
授 業 科 目 （ 英 名 ）		母性看護支援論Ⅱ（ Maternity Nursing Ⅱ ）						
担 当 教 員 名		◎坂本 めぐみ・櫻井 薫・渡部 加恵 （◎は科目責任者）						
[授業の概要] [授業の概要] 妊娠・出産・子育てを、女性のライフサイクルにおける成熟期の発達課題として理解し、周産期おもに産褥期・新生児期にある親子とその家族に対する支援について学修する。 支援論Ⅱでは支援論Ⅰで学修した知識をもとに、異常への逸脱を防ぐだけでなく生理的な変化をより高い健康度で生じることができるような専門職の支援とその方法を学ぶ。また親役割獲得を対象としての発達課題達と位置づけ、その達成への支援を学ぶ。								
[科目の位置付け（全学年を通しての関連科目）] ヒューマンセクシュアリティ論、生涯発達論、母性看護学概論、母性看護学実習、病態治療学Ⅲ（小児、母性系）他								
[到達目標] 1）産褥・新生児の生理が理解できる。 2）産褥・新生児期に生じる生理的な過程がよりよく経過し、過ごすことができるための看護が理解できる。 3）親子やその家族のライフスタイルに合わせた、その人らしい出産を経た子育てに向かう支援を考える。 4）知識を統合して、事例に必要な支援を導き出すプロセスが理解できる。 5）母性看護に必要な看護技術を学ぶ。								
回	授業計画				授業外学修 （事前学修・事後学修）		担当者	
1	[授業計画オリエンテーション・ガイダンス] [産褥期小テスト] 産褥期の看護 1 産褥経過				事前学修(30分)：教科書 p322-334 精読する。過去に出題された褥婦の看護に関する国家試験問題に取り組む。 事後学修（60分）：授業内容を復習する。		坂本	
2	産褥期の看護 2 褥婦のアセスメント 退行性変化を促す看護・ 進行性変化を促す看護・母乳育児支援 ★前回授業範囲の小テスト（5問）				事前学修(30分)：教科書 p334-345 精読する。 事後学修（60分）：授業内容を復習する。		坂本	
3	産褥期の看護 3 褥婦と家族の看護 3 母子関係の形成・確立を支援する看護 親役割の獲得を支援する看護 ・家族の再構成を支援する看護 ★前回授業範囲の小テスト（5問）				事前学修(30分)：教科書 p345-366 精読する。 事後学修（60分）：授業内容を復習する。		坂本	
4	産褥期の看護 4 施設退院後の看護 ★前回授業範囲の小テスト（5問）				事前学修(30分)：教科書 p367-377 精読する。 事後学修（60分）：授業内容を復習する。		坂本	
5	産褥期の看護 5 産褥期の異常・生理的経過を逸脱した褥婦の看護 ★前回授業範囲の小テスト（5問）				事前学修(30分)：教科書 p514-532、p541-548 精読する。 事後学修（60分）：授業内容を復習する。		坂本	
6	[演習 看護過程 褥婦と新生児の看護アセスメント1] 演習用電子カルテを用いて、褥婦の情報収集とアセスメントを行なう。事例展開の演習を行なう。 ★前回授業範囲の小テスト（5問）				事前学修(30分)：演習用電子カルテから指定した褥婦の情報収集を行う。 事後学修（60分）：授業で行った事例展開を完成させる		櫻井	
7	[新生児期小テスト] 新生児の生理・看護 1 新生児期の用語の定義、新生児の生理機能と観察・アセスメント				事前学修(60分)：教科書を精読する。新生児に関する一般図書を読み、乳児や新生児についてのイメージをもつ。過去に出題された新生児の看護に関する国家試験問題に取り組む。 事後学修(30分)：小テスト結果を振り返り、自己の学習課題を明確にする。授業内容を十分復習する。		櫻井	
8	新生児の生理・看護 2 母体外生活への適応と看護 ★前回の授業範囲の小テスト（5問）				事前学修(30分)：教科書p262-304 を精読する。母性看護学概論・病態治療学Ⅲについても復習しておく。春期休業中の課題とあわせ、出産・子育てに関する一般図書を読み、学修内容の理解を深める。 事後学修（60分）：授業内容を十分復習する。興味や関心をもった箇所について文献を検索し調べてみる		櫻井	
9	新生児の看護 3 新生児期の成育を支援する看護 新生児の生理機能と観察・アセスメント、新生児期の看護の特徴、新生児の看護目標と看護、家族への看護、新生児の異常 ★前回の授業範囲の小テスト（5問）				事前学修(30分)：教科書 P305-320 を精読する。母性看護学概論・病態治療学Ⅲについても復習しておく。春期休業中の課題とあわせ、出産・子育てに関する一般図書を読み、学修内容の理解を深める。 事後学修（60分）：授業内容を十分復習する。興味や関心をもった箇所について文献を検索し調べてみる。		坂本	

10	新生児の看護 4 生理的経過を逸脱した新生児の看護・家族への看護 [ペリネイタルロス] ペリネイタルロスとは、ペリネイタルロスと看護 新生児の看護過程 ★前回授業範囲の小テスト（5問）	事前学修(30分)：教科書p489－513、p535－540 精読する。 事後学修（60分）：授業内容を復習する。	坂本
11	[演習 新生児期の対象に必要な看護技術]	事後学修（60分）：授業内容を十分復習する。授業時間内で経験できなかった部分について、動画を活用するなどイメージ学習を行う。質問がある場合には自ら質問して解決できるようにする。実習前に練習すべき課題を明確にする。	坂本、渡部、櫻井
12	[演習 新生児期の対象に必要な看護技術]	事前学習（60分）：指定された演習ノートの課題に取り組む。関連するDVDや動画を視聴し、イメージをもって望む。技術の根拠とする知識について、十分復習してから授業に臨む。技術演習にふさわしい身なりを整える。事後学修（60分）：授業内容を十分復習する。授業時間内で経験できなかった部分について、動画を活用するなどイメージ学習を行う。質問がある場合には自ら質問して解決できるようにする。実習前に練習すべき課題を明確にする。	坂本、渡部、櫻井
13	[演習 産褥期の対象に必要な看護技術]	事前学習（60分）：指定された演習ノートの課題に取り組む。関連するDVDや動画を視聴し、イメージをもって望む。技術の根拠とする知識について、十分復習してから授業に臨む。技術演習にふさわしい身なりを整える。事後学修（60分）：授業内容を十分復習する。授業時間内で経験できなかった部分について、動画を活用するなどイメージ学習を行う。質問がある場合には自ら質問して解決できるようにする。実習前に練習すべき課題を明確にする。	坂本、渡部、櫻井
14	[演習 看護過程 褥婦と新生児の看護アセスメント2] 演習用電子カルテを用いて、新生児の情報収集とアセスメントを行なう。事例展開の演習を行なう。	事前学修(30分)：演習用電子カルテから指定した新生児の情報収集を行う。 事後学修（60分）：授業で行った事例展開を完成させる	坂本、渡部、櫻井
15	産褥期・新生児期の看護のまとめ	事前学習（60分）：教科書を精読する。授業で確認したい質問事項を考えてくる 事後学修（60分）：授業内容を復習する	坂本
成績評価の方法と基準 提出物20%、定期試験75%、課題提出を含む授業への取り組み5%			
履修上の留意点		履修上の留意点授業開始後20分以上の遅刻は欠席とします。 遅刻（授業開始～20分未満）3回で1回の欠席扱いとします。 教科書は必ず持参してください。 第1回に、これまでの知識の確認と、産褥期の看護に関する看護師国家試験過去問題を活用した小テストを実施します。母性看護に関連する必修問題、妊娠期の看護に関する問題を復習しておいてください。 看護学実習を目前に控えた時期の科目です。自分だったらどの様な援助を提供するかを考えながら受講してみましよう。	
ディプロマ・ポリシーとの関連		本科目は、特にディプロマポリシーの4・3・8に関連します。専門職としての倫理的判断を持ち、自律性と協働の必要性を考えながら取り組んで下さい。根底にホスピタリティの基盤を忘れないことも重要です。	
教科書		森恵美 他：系統看護学講座専門Ⅱ 母性看護学各論・母性看護学[2]、医学書院、2025. 荒木奈緒 他：ナースングラフィカ母性看護学③、母性看護技術、メディカ出版、2024.	
参考書・参考資料		医療情報科学研究所編：病気がみえるVol. 10産科、メディックメディア、2018. 荒木勤：最新産科学＜正常編＞、文光堂、2008. 荒木勤：最新産科学＜異常編＞、文光堂、2008. その他適宜授業内で紹介します。	
学生との連絡方法		授業は他学年の実習と並行して開講されます。できるだけアポイントメントを取ってください。 不在の時は、メールで受け付けます。 坂本 水（12:30～13:30）、（16:00～17:00） 櫻井 渡部 水（12:30～13:30） オフィスアワーとして設定し相談を受け付けます。	
実務経験科目		本科目は、実践的な母性看護技術や心理社会的な支援技術を授業に組み入れています。具体的な援助技術は助産師としての実務経験を活かしています。	

授業形態	開講学部	看護学部	必修	1単位	演習		
	2年次	開講期	後期	ディスカッション	有	学外授業	有
授 業 科 目 (英 名)	小児看護支援論Ⅰ (Theory and Interventions in Pediatric Nursing Ⅰ)						
担 当 教 員 名	◎茂手木 明美・井上 寛隆・坂田 徳生 (◎は科目責任者)						
[授業の概要] 生涯発達論、病態治療学Ⅲ及び小児看護学概論における学修をふまえ、子どもと家族の健康レベルに応じた看護・支援について学んでいきます。また、子どもと家族の権利・尊厳と最善の利益を守りながら健やかな成長・発達を支援する小児看護の実際と役割について考えていきます。							
[科目の位置付け (全学年を通しての関連科目)] 専門科目に位置づく科目です。2年次の小児看護学概論、病態治療学Ⅲに関連しています。3年次の小児看護支援論Ⅱや小児看護学実習に深く関連している科目です。							
[到達目標] 1. さまざまな健康レベルにある子どもと家族の特徴を理解できる。 2. さまざまな健康レベルにある子どもと家族の権利・尊厳と最善の利益を守るためのかわりについて考えることができる。 3. さまざまな健康レベルにある子どもと家族が、よりよい生活を送るために必要な看護・支援について考えることができる。							
回	授業計画			授業外学修 (事前学修・事後学修)		担当者	
1	【授業ガイダンス】科目概要・目標・授業予定・評価について 【小児看護学概論振り返り】 【小児に特徴的な症状の観察・看護】 啼泣・不機嫌、発熱、嘔吐、下痢、脱水、けいれんの観察・看護			事前学修 (30分) : 指定教科書1 p344～412を精読する。 事後学修 (30分) : 授業で配付したプリントを用いて復習する。		茂手木明美	
2	【小児看護技術】 子どもの輸液管理 子どもの与薬			事前学修 (30分) : 指定教科書1 のp419～431、432～439、3の p104～115、116～121を精読する。 事後学修 (30分) : 授業で配付したプリントを用いて復習する。		井上寛隆	
3	【さまざまな健康レベルにある子どもと家族の看護①】 乳児期にある循環器疾患をもつ子どもと家族の看護			事前学修 (30分) : 指定教科書2 のp190～221を精読する。指定教科書1で乳児期の特徴を再確認する。 事後学修 (30分) : 授業で配付したプリントを用いて復習する。		坂田徳生	
4・5	【小児における看護過程の基本】 子どもの観察・情報収集・整理のポイントと各項目の考え方 小児看護におけるアセスメントの考え方と方法			事前学修 (60分) : 第1～3回の授業内容を再確認する。 事後学修 (60分) : 授業内容を整理する。		茂手木明美	
6	【さまざまな健康レベルにある子どもと家族の看護②】 幼児前期にある呼吸器疾患をもつ子どもと家族の看護			事前学修 (30分) : 指定教科書2 のp176～188を精読する。指定教科書1で幼児期の特徴を再確認する。 事後学修 (30分) : 授業で配付したプリントを用いて復習する。		坂田徳生	
7	【検査・治療・処置を受ける子どもと家族の看護】			事前学修 (30分) : 指定教科書1 のp416～469を精読する。 事後学修 (30分) : 授業で配付したプリントを用いて復習する。		茂手木明美	
8	【小児看護技術】 小児病棟で起きやすい事故と安全対策・環境整備			事前学修 (30分) : 指定教科書2 のp520～536、3のp96～103を精読する。 事後学修 (30分) : 授業で配付したプリントを復習する。		坂田徳生	
9・10	①【小児看護技術演習】 (実習室Ⅲ) 子どもの身体計測、抱っこ、更衣、オムツ交換 ②【小児における看護過程の実際】 (教室) 情報整理とアセスメントの実際 ※ガラス別もしくはグループ別に①・②の内容を行います。			事前学修 (60分) : 【技術演習】指定教科書1のp296～341、3のp50～76を精読する。 【看護過程】看護過程の基本内容を再確認する。 事後学修 (60分) : 【技術演習】演習の振り返りを行い、課題と改善点についてまとめる。 【看護過程】看護過程の内容を整理する。		茂手木明美、井上寛隆、坂田徳生	
11	【さまざまな健康レベルにある子どもと家族の看護③】 幼児後期にある血液疾患をもつ子どもと家族の看護			事前学修 (30分) : 指定教科書2 のp282～333を精読する。指定教科書1で幼児後期の特徴を再確認する。 事後学修 (30分) : 授業で配付したプリントを用いて復習する。		井上寛隆	
12	【さまざまな健康レベルにある子どもと家族の看護④】 学童期にある腎疾患をもつ子どもと家族の看護			事前学修 (30分) : 指定教科書2 のp338～377を精読する。指定教科書1で学童期の特徴を再確認する。 事後学修 (30分) : 授業で配付したプリントを用いて復習する。		井上寛隆	

13	【小児における看護過程の実際】 情報整理とアセスメントの実際	事前学修（30分）：看護過程の 基本内容と第9・10回の看護過程 の実際での内容を再確認する。 事後学修（30分）：看護過程の 内容を整理する。	茂手木明美
14	【小児看護技術演習】 ①子どもの経口与薬の実際（実習室Ⅲ） ②滴下および薬剤量の計算（教室） ※グラス別もしくはグループ別に①・②の内容を行います。	事前学修（30分）：第2回の授業 内容を復習する。 事後学修（30分）：演習内容を 振り返り復習する。	茂手木明美、井上寛 隆、坂田徳生
15	【手術を受ける子どもと家族の看護】 【まとめ】本科目のまとめと小児看護支援論Ⅱに向けて	事前学修（30分）：指定教科書1 のp256～268を精読する。 事後学修（30分）：授業で配付 したプリントを用いて復習す る。	茂手木明美
			茂手木 明美
		事前学修（30分）：指定教科書1 のp256～p268を精読する。 事後学修（30分）：授業で配付 したプリントを用いて復習す る。	茂手木 明美
成績評価の方法と基準		定期試験(70%)、看護過程(15%)、看護技術演習レポート(15%)で、総合的に評価します。 * 定期試験は100点満点で出題し、その得点を70%換算し、最終評価に活用します。 定期試験（本試験）では、60点以上を合格とします。看護過程（15%）および看護技術演習レポート（15%） の得点は最終評価時に加算します。	
履修上の留意点		* 「小児看護学概論」の履修をしていることが望ましい科目です。 「小児看護学実習」に繋がる科目であり、各回内容が異なります。 そのため、体調管理に努め欠席をしないよう履修して下さい。（欠席1回につき、評価点より1点減点します。） * 授業開始後20分以上の遅刻は欠席とし、遅刻（授業開始～20分未満）3回で1回の欠席扱いとします。 授業時間中の途中退席は、欠席扱いとなります。体調不良等でやむを得ず一時的に途中退出する場合には、 教員に申し出てください。 * 授業に参加していない、または履修上の留意点を守られていない等、周囲の受講者に影響を及ぼすと判断した場 合には、退室を促す場合があります。その場合は欠席扱いとなりますので十分注意してください。 授業時間中は、スマートフォン等の機器は教員指示があった際のみ使用を認めます。	
ディプロマ・ポリシーとの関連		本科目は、看護学部ディプロマポリシーの4・3・2・6と関連しています。 さまざまな健康レベルにある子どもと家族に必要な看護について、自主的かつ自律的に学修することが大切になり ます。さまざまな状況にある子どもと家族とのかかわりや倫理的判断に基づいた看護実践をとおして、その子らし さや子どもと家族の持っている力を見出すことが大切になります。看護専門職を目指すものとして、子どもと家族 に謙虚かつ誠実な姿勢でかかわり、子どもと家族の最善の利益を守ることにつながるよう取り組んでください。	
教科書		1. 奈良間美保他（2023）「系統看護学講座 小児看護学概論 小児臨床看護総論（第14版）」（医学書院、東 京） 2. 奈良間美保他（2023）「系統看護学講座 小児臨床看護各論（第14版）」（医学書院、東京） 3. 山元恵子（2023）新訂第2版「写真でわかる 小児看護技術アドバンス」（インターメディカ、東京）」	
参考書・参考資料		2025年度病態治療学Ⅲ、小児看護学概論の講義資料 その他は、適宜授業中に紹介します。	
学生との連絡方法		必要な連絡は、授業内で行います。 授業に関する質問等は、授業内もしくは情報システムで受け付けます。	
実務経験科目		本科目は実務経験に基づき、小児看護の実践に必要な知識・技術の基本について指導する。	

授業形態	開講学部	看護	必修	3単位	実習		
	3年次	開講期	通年	ディスカッション	有	学外授業	有
授 業 科 目 （ 英 名 ）	成人看護学実習Ⅰ（ Clinical Practice of Adult Health Nursing Ⅰ ）						
担 当 教 員 名	◎高橋 幸子・森川 奈緒美・大和 広美・関根 みぎわ・保坂 嘉成 （◎は科目責任者）						
〔 授業の概要 〕 慢性の健康障害をもつ対象（終末期を含む）が健康やQOLを維持・向上できるような看護実践をするために、全人的にとらえ、病みの軌跡を理解した上で、対象とパートナーシップを築きながらセルフマネジメントを支援する方法と、そのための基礎的能力を修得します。また、実践を通して、慢性期（または終末期）の看護の特徴や看護師の役割を理解します。							
〔 科目の位置付け（全学年を通しての関連科目） 〕 慢性期・終末期にある成人への看護実践の基礎的知識、看護過程の展開方法、具体的支援方法について学修した2年次までの科目が基礎となります。この科目の内容は、4年次の総合実習の土台となります。（成人看護学概論、成人看護学支援論Ⅰ・Ⅱ、成人看護学実習Ⅱ、総合実習）							
〔 到達目標 〕 1. 慢性の健康障害をもつ対象を人生と暮らしの視点でとらえ、対象の状態や看護の必要性について、看護者としての自分の考えを説明できる。 2. 看護計画の実施・評価を通じて、慢性の健康障害を持つ対象のセルフマネジメントやQOLの維持・向上に向けた看護援助ができる。 3. 慢性の健康障害をもつ対象への看護の特徴と看護師の役割を理解できる。 4. 看護学生として責任を自覚し、倫理観や主体性・協調性のある行動ができる。							
回	授業計画			授業外学修 （事前学修・事後学修）		担当者	
	実習期間：2025年6月9日～10月24日のうち3週間 実習内容：方法は実習要項を参照			適宜オリエンテーション時に、教員より指示します。		高橋幸子・森川奈緒美・大和広美・関根みぎわ・保坂嘉成	
成績評価の方法と基準		評価表に基づいて総合的に評価します。詳細は実習要項を参照してください。					
履 修 上 の 留 意 点		履修規定に定められた実習時間数を満たすこと（実習時間の4/5以上の出席）が単位認定の条件となります。 詳細は実習要項を参照してください。					
ディプロマ・ポリシーとの関連		ディプロマポリシーの4・3・5・8と特に関連します					
教 科 書		成人看護学概論および成人看護学支援論Ⅰ・Ⅱで使用した教科書					
参 考 書 ・ 参 考 資 料		成人看護学概論および成人看護学支援論Ⅰ・Ⅱで使用した教科書、参考書、講義資料など その他、適宜紹介します。					
学 生 と の 連 絡 方 法		適宜相談に応じます。					
実 務 経 験 科 目		臨床現場における看護実践を基に、慢性期患者への看護実践と多職種連携について指導指導する。					

授業形態	開講学部	看護学部		必修	1	演習	
	3年次	開講期	前期	ディスカッション	有	学外授業	無
授 業 科 目 （ 英 名 ）	老年看護支援論Ⅱ（ Gerontological Nursing Ⅱ ）						
担 当 教 員 名	◎飯室 淳子・祥雲 直樹・阿部 祐美子・松岡 志津香 （◎は科目責任者）						
〔 授業の概要 〕 高齢者の誰もがができる限り健康的な生活ができ、その人らしい人生を送ることができるように支援する老年看護の役割を認識し、加齢に伴う変化の特徴を踏まえて高齢者に特徴的な症候・疾患・障害について包括的に理解し、健康を支えるうえでの看護の技法や、様々な状態・状況に応じた看護の提供に向けて学修します。							
〔 科目の位置付け（全学年を通しての関連科目） 〕 老年看護学概論（2年次前期）や老年看護支援論Ⅰ（2年次後期）の学修内容を基に、高齢者を看護していく上での必要な知識・技術を学びます。本科目での学修は、3年次の老年看護学実習Ⅰ・Ⅱに繋がります。既習の専門基礎科目や専門科目の学修内容とは相互に関連しています。							
〔 到達目標 〕 1. 老年期に特徴的な症候・疾患・障害を持つ高齢者および家族への看護について理解し説明できる。 2. 受療状況に応じた高齢者および家族への看護について理解し説明できる。 3. 高齢者の持てる力と強みに着目し、その人に合った看護過程の展開ができる。							
回	授業計画			授業外学修 （事前学修・事後学修）		担当者	
1	科目ガイダンス 高齢者に特有な症候・疾患・障害と看護：パーキンソン病			事前学習（90分）：教科書①第6章B⑥、教科書②第2編第1部2を精読する。 事後学習（90分）：教科書①第6章B⑥、教科書②第2編第1部2、授業内容を復習する。		飯室淳子	
2	看護過程演習①：情報整理、アセスメント			事前学習（90分）：教科書①付章を精読する。 事後学習（90分）：配付「記録用紙No.2」「記録用紙No.3」に情報の整理、アセスメントを行う。		飯室淳子・祥雲直樹・阿部祐美子・松岡志津香	
3	高齢者に特有な症候・疾患・障害と看護：認知症（1）			事前学習（90分）：教科書①第6章C③、教科書②第2編第1部1を精読する。 事後学習（90分）：教科書①第6章C③、教科書②第2編第1部1、授業内容を復習する。		飯室淳子	
4	看護過程演習②：アセスメント			事前学習（90分）：配付「記録用紙No.2」「記録用紙No.3」に情報の整理、アセスメントを行う。 事後学習（90分）：配付「記録用紙No.2」「記録用紙No.3」に情報の整理、アセスメントを行う。		飯室淳子・祥雲直樹・阿部祐美子・松岡志津香	
5	高齢者に特有な症候・疾患・障害と看護：認知症（2）			事前学習（90分）：教科書①第6章C③、教科書②第2編第1部1を精読する。 事後学習（90分）：教科書①第6章C③、教科書②第2編第1部1、授業内容を復習する。		飯室淳子	
6	高齢者に特有な症候・疾患・障害と看護：①認知症（3） ②うつ状態			事前学習（90分）：教科書①第6章C①③、教科書②第2編第1部1、第2部25、26を精読する。 事後学習（90分）：教科書①第6章C①③、教科書②第2編第1部1、第2部25、26、授業内容を復習する。		飯室淳子	
7	看護過程演習③：関連図			事前学習（90分）：配付「記録用紙No.2」「記録用紙No.3」に情報の整理、アセスメントを行う。 事後学習（90分）：配付「記録用紙No.4」に関連図を作成し、対象の全体像を見出す。		飯室淳子・祥雲直樹・阿部祐美子・松岡志津香	
8	看護過程演習④：看護の焦点			事前学習（90分）：配付「記録用紙No.2」「記録用紙No.3」「記録用紙No.4」に取り組む。 事後学習（90分）：配付「記録用紙No.4」に関連図を作成し、対象の全体像を見出す。配付「記録用紙No.5」に対象の持てる力や強みを挙げ、対象に必要な看護を見出す。		飯室淳子・祥雲直樹・阿部祐美子・松岡志津香	
9	治療を受ける高齢者の看護：薬物療法			事前学習（90分）：教科書①第7章Bを精読する。 事後学習（90分）：教科書①第7章B、授業内容を復習する。		飯室淳子	
10	看護過程演習⑤：看護計画立案			事前学習（90分）：配付「記録用紙No.2」「記録用紙No.3」「記録用紙No.4」「記録用紙No.5」に取り組む。 事後学習（90分）：配付「記録用紙No.6」に対象に必要な看護計画を立案する。		飯室淳子・祥雲直樹・阿部祐美子・松岡志津香	

11	治療を受ける高齢者の看護：手術療法 高齢者に特有な症候・疾患・障害と看護：せん妄	事前学習（90分）：教科書①第6章C②第7章C、教科書②第2編第1部1、第2部25. 26を精読する。 事後学習（90分）：教科書①第6章C②第7章C、教科書②第2編第1部1、第2部25. 26、授業内容を復習する。	飯室淳子
12	看護過程演習⑥：看護計画立案、実施準備	事前学習（90分）：配付「記録用紙No. 6」に対象に必要な看護計画を立案する。 事後学習（90分）：次回演習での実施へ向けて、配付「記録用紙No. 6」に立案した看護計画内容を確認し、必要時修正する。	飯室淳子・祥雲直樹・阿部祐美子・松岡志津香
13	看護過程演習⑦：看護計画実施、評価・修正	事前学習（90分）：配付「記録用紙No. 6」に立案した看護計画内容を確認し、必要時修正する。 事後学習（90分）：演習を通して看護過程の展開内容を振り返り、自己の課題を明確化し、実習へ向けた準備学習に取り組む。	飯室淳子・祥雲直樹・阿部祐美子・松岡志津香
14	看護過程演習⑧：看護計画実施、評価・修正、まとめ	事前学習（90分）：配付「記録用紙No. 6」に立案した看護計画内容を確認し、必要時修正する。 事後学習（90分）：演習を通して看護過程の展開内容を振り返り、自己の課題を明確化し、実習へ向けた準備学習に取り組む。	飯室淳子・祥雲直樹・阿部祐美子・松岡志津香
15	終末期にある高齢者の看護：①エンドオブライフケア ②アドバンスケアプランニング ③家族への支援 まとめ	事前学習（90分）：教科書①第8章を精読する。 事後学習（90分）：教科書①第8章、授業内容を復習する。	飯室淳子
成績評価の方法と基準		定期試験（50%）、課題（50%）により総合的に評価します。	
履修上の留意点		・教科書・参考書・授業資料を活用し、授業計画に沿って事前・事後学習を行い、主体的に授業に臨むこと。 ・授業開始21分以降は遅刻とします。遅刻3回は欠席1回に換算します。 ・授業中の不必要な会話や、授業とは関連しない行動は授業妨害とみなし、担当教員の判断で退室を指示することがあります。その場合は時間を問わず欠席扱いとします。	
ディプロマ・ポリシーとの関連		本科目は、ディプロマポリシーの特に4・2・3に関連しています。	
教科書		①北川公子他：系統看護学講座専門分野Ⅱ 老年看護学 第9版、医学書院、2024. ②山田律子他：生活機能からみた 老年看護過程+病態・生活機能関連図 第4版、医学書院、2024. :	
参考書・参考資料		鳥羽研二他：系統看護学講座専門分野Ⅱ 老年看護 病態・疾患論 第5版、医学書院、2024. 亀井智子他：根拠と事故防止からみた 老年看護技術 第3版、医学書院、2020. 古田愛子他：新訂版 写真でわかる 高齢者ケアアドバンス、インターメディカ、2020. その他、適宜紹介します。	
学生との連絡方法		授業開始前後の時間帯および授業日の放課後19:00迄の時間で対応します。 実習期間中など一部対応が難しい場合もあります。事前に担当教員へ希望日時をお知らせくださるとありがたいです。連絡方法の詳細は初回の授業時にお伝えします。	
実務経験科目		臨床現場における経験を基に、老年看護支援論Ⅱの実践的理解を促進するように取り組みます。	

授業形態	開講学部	看護		必修	2単位	講義・演習	
	3年次	開講期	前期	ディスカッション	有	学外授業	無
授 業 科 目 （ 英 名 ）	在宅看護支援論（Nursing Care of home Care Nursing）						
担 当 教 員 名	◎日野 徳子・小松 妙子・尾崎 美恵子〔兼任〕 （◎は科目責任者）						
〔 授業の概要 〕 在宅療養者とその家族のニーズに合わせた在宅療養準備期～在宅療養終了期までの支援および、在宅という場の特徴に合わせた看護の実践について学修します。							
〔 科目の位置付け（全学年を通しての関連科目） 〕 在宅看護学概論、ヘルスアセスメントⅠ・Ⅱ、生活援助技術、療養援助技術、看護過程論							
〔 到達目標 〕 1. 退院支援・退院調整を経て在宅療養へと至る過程について理解できる。 2. 在宅療養者と家族への支援方法について理解できる。 3. 在宅療養者と家族に対する看護過程の展開方法について理解できる。							
回	授業計画				授業外学修 （事前学修・事後学修）		担当者
1	授業ガイダンス 課題レポート内容と提出方法、在宅における看護実践の基本 在宅における看護過程展開の基本				事前学修（30分）：教科書pp. 50-78 の予習 事後学修（30分）：教科書該当ページおよび授業により学んだことについて復習		小松 ・ 日野
2	看護過程ワークブックの活用 受け持ち事例紹介 情報収集の視点				事前学修（30分）：教科書pp12～22の予習 事後学修（30分）：教科書該当ページおよび授業内容の復習		小松 ・ 日野
3	呼吸を整える援助技術＜講義＞				事前学修（30分）：教科書pp186～204の予習 事後学修（30分）：教科書該当ページおよび授業内容の復習		外部講師 小松・日野・尾崎
4	呼吸を整える援助技術＜演習＞ 課題レポート①「在宅酸素療法、在宅人工呼吸療法を行う療養者や家族への援助」				事前学修（30分）：教科書pp186～204の予習 事後学修（30分）：教科書該当ページおよび授業内容の復習		外部講師 小松・日野・尾崎
5	情報の整理 1（看護過程）				事前学修（30分）：情報の整理 事後学修（30分）：情報の整理、わからない用語の復習		小松 ・ 日野
6	情報の整理 2（看護過程）				事前学修（30分）：情報の整理 事後学修（30分）：アセスメントを進める		小松 ・ 日野
7	アセスメント 1（看護過程）				事前学修（30分）：情報の整理 事後学修（30分）：アセスメントを進める、情報の確認		日野 ・ 小松
8	アセスメント 2（看護過程）				事前学修（30分）：アセスメントを進める 事後学修（30分）：アセスメントを進める 情報の確認		日野 ・ 小松
9	安全な移動・移乗の援助技術＜講義・演習＞				事前学修（30分）：教科書pp860-103の予習 事後学修（30分）：教科書該当ページおよび授業内容の復習		外部講師 小松・日野・非常勤
10	安全な移動・移乗の援助技術＜講義・演習＞ 課題レポート②「在宅療養者の安全な移乗・移動への援助」				事前学修（30分）：教科書pp86～103の予習 事後学修（30分）：教科書該当ページおよび授業内容の復習		外部講師・小松・日野・尾崎
11	食を整える援助技術				事前学修（30分）：教科書pp115-135の予習 事後学修（30分）：教科書該当ページおよび授業内容の復習		外部講師・小松・日野
12	排泄の援助技術				事前学修（30分）：教科書pp136-160の予習 事後学修（30分）：教科書該当ページおよび授業内容の復習		日野 ・ 小松
13	清潔の援助技				事前学修（30分）：教科書pp161-170, 206～218の予習 事後学修（30分）：教科書該当ページおよび授業内容の復習		日野 ・ 小松
14	薬物療法のための援助技術				事前学修（30分）：教科書pp219～229の予習 事後学修（30分）：教科書該当ページおよび授業内容の復習		小松 ・ 日野
15	知識確認テスト アセスメント 3（看護過程）				事前学修（30分）：教科書pp244-248, 330～336 の予習 事後学修（30分）：教科書該当ページおよび授業内容の復習		日野 小松
16	アセスメント 4（看護過程）				事前学修（30分）：第7-15回授業内容の復習 事後学修（30分）：授業内容の復習		日野 ・ 小松
17	アセスメン 5（看護過程）				事前学修（30分）：授業内容をもとにアセスメントを進める 事後学修（30分）：授業内容の復習、		日野 ・ 小松

18	アセスメント6（看護過程）	事前学修（30分）：アセスメントを進める、情報の確認 事後学修（30分）：授業内容の復習、アセスメントの修正	日野・小松
19	全体像1（健康状態の関連図）	事前学修（30分）：アセスメントを進める 事後学修（30分）：授業内容の復習、アセスメントの修正	小松・日野
20	全体像2（社会資源の連携時）	事前学修（30分）：アセスメントを進める 事後学修（30分）：授業内容の復習、アセスメントの完成	小松・日野
21	課題レポート③提出 学びの共有 看護計画立案1	事前学修（30分）：アセスメントをもとに健康状態の源連携図を作成 事後学修（30分）：授業内容の復習、健康状態連携図の完成	日野・小松
22	看護計画立案2	事前学修（30分）：社会資源連携図の作成、基礎情報の確認 事後学修（30分）：社会資源連携図の完成	日野・小松
23	看護計画立案3＜グループワーク＞	事前学修（30分）：看護計画の作成 事後学修（30分）：看護計画の修正、情報の確認	日野・小松・尾崎
24	看護計画立案4＜グループワーク＞	事前学修（30分）：看護計画の作成 事後学修（30分）：看護計画の修正、情報の確認	日野・小松・尾崎
25	計画の実施1	事前学修（30分）：看護計画の作成 事後学修（30分）：看護計画の修正、情報の確認	日野・小松・尾崎
26	計画の実施2	事前学修（30分）：看護計画の修正 事後学修（30分）：看護計画の完成、実施に向けた準備	日野・小松・尾崎
27	医療的ケア児及び家族への地域・在宅看護方法	事前学修（30分）：看護計画実施に向けた準備 事後学修（30分）：授業内容の復習	外部講師・小松・日野
28	難病の療養者・家族への地域・在宅看護方法	事前学修（30分）：看護計画実施に向けた準備 事後学修（30分）：看護計画実施内容の評価、看護計画の修正	日野・小松
29	在宅におけるエンドオブライフケア	事前学修（30分）：教科書pp252～265の予習 事後学修（30分）：授業内容の振り返り	外部講師・小松・日野
30	看護過程展開、看護援助のまとめ	事前学修（30分）：教科書pp296～308の予習 事後学修（30分）：在宅看護学実習に向けた授業内容の振り返り	小松・日野
成績評価の方法と基準		課題レポート①②③計35%、看護過程40%、知識確認テスト①25%、及び授業への参加度や演習等への参加態度により総合的に評価します。	
履修上の留意点		授業開始後30分までを遅刻とします。教科書・参考書・授業資料等を活用し授業計画に沿って事前・事後学修を必ず行ってください。 レポートは指定日時までに提出されたものを評価対象とします。	
ディプロマ・ポリシーとの関連		本科目は、ディプロマポリシーの特に4・5・6に関連します	
教科書		河原加代子他著（2022. 系統看護学講座 地域・在宅看護の実践 地域・在宅看護論2. 医学書院. 東京.	
参考書・参考資料		河原加代子他著（2022. 系統看護学講座 地域・在宅看護の基盤 地域・在宅看護論1. 医学書院. 東京 臺有桂・石田千絵・山下留理子編（2022）. ナーシング・グラフィカ 地域・在宅看護論② 在宅療養を支える技術. メディカ出版. 東京.	
学生との連絡方法		オフィスアワー／授業時間以外の連絡はAAA等を使用することがあります 原則：授業開講日 外部師：授業日の休憩時間と授業終了後30分以内	
実務経験科目		在宅看護の経験を活かし、地域連携や家族支援の実践的な内容で講義・演習を展開する。	

授業形態	開講学部	看護学部	必修	1	講義・演習		
	2年次	開講期	後期	ディスカッション	有	学外授業	無
授 業 科 目 （ 英 名 ）	精神看護支援論Ⅰ（ Psychiatric NursingⅠ ）						
担 当 教 員 名	◎石川 幸代・原田 瞳・笠井 翔太 （◎は科目責任者）						
[授業の概要] 人間の生活と精神機能との関係を理解し、精神の障害による日常生活および身体に及ぼす影響を考える。また、精神機能障害をもつ人とその家族が抱える健康問題について、代表的な精神疾患、精神障害についての知識を基盤に看護事例を取り上げ、その人らしいＱＯＬを目標に、精神看護の技法を活用し、看護の方向性を考える。また、精神医療保健福祉における看護の役割について学び、地域精神医療についても理解を深める。							
[科目の位置付け（全学年を通しての関連科目）] 精神保健、精神看護学概論での学びをもとに、精神看護における対象への支援の方法について理解を深め、精神看護学支援論Ⅱ、精神看護学実習につながるものです。							
[到達目標] 1. 精神の障害による日常生活および身体に及ぼす影響を考えることができる。 2. 精神機能障害をもつ人とその家族が抱える健康問題について、代表的な精神疾患、精神障害についての知識を基盤に看護事例を取り上げ、その人らしいＱＯＬを目標に、精神看護の技法を活用し、看護の方向性を考えることができる。 3. 精神医療保健福祉における看護の役割について学び、地域精神医療についても理解を深める。							
回	授業計画			授業外学修 （事前学修・事後学修）		担当者	
第1回	精神看護支援論Ⅰでは何を学ぶのか？ 授業ガイダンス 精神機能の障害と看護			事前学修（60分）：精神保健、精神看護概論で学んだことを復習する。 事後学修（60分）：授業の内容をノートにまとめる。		石川	
第2回	統合失調症を持つ患者の看護			事前学修（60分）：教科書の該当部分を精読する。 事後学修（60分）：授業の内容をノートにまとめる。		石川	
第3回	気分障害をもつ患者の看護			事前学修（60分）：教科書の該当部分を精読する。 事後学修（60分）：授業の内容をノートにまとめる。		原田	
第4回	パーソナリティ障害・強迫性障害をもつ患者の看護			事前学修（60分）：教科書の該当部分を精読する。 事後学修（60分）：授業の内容をノートにまとめる。		笠井	
第5回	依存症患者の看護			事前学修（60分）：教科書の該当部分を精読する。 事後学修（60分）：授業の内容をノートにまとめる。		原田	
第6回	薬物療法と看護			事前学修（60分）：教科書の該当部分を精読する。 事後学修（60分）：授業の内容をノートにまとめる。		笠井	
第7回	精神科における各種療法と看護			事前学修（60分）：教科書の該当部分を精読する。 事後学修（60分）：授業の内容をノートにまとめる。		原田	
第8回	精神科救急と看護			事前学修（60分）：教科書の該当部分を精読する。 事後学修（60分）：授業の内容をノートにまとめる。		石川	
第9回	精神科リハビリテーションと看護			事前学修（60分）：教科書の該当部分を精読する。 事後学修（60分）：授業の内容をノートにまとめる。		石川	
第10回	精神科訪問看護とその実際			事前学修（60分）：教科書の該当部分を精読する。 事後学修（60分）：授業の内容をノートにまとめる。		石川	
第11回	司法精神看護			事前学修（60分）：教科書の該当部分を精読する。 事後学修（60分）：授業の内容をノートにまとめる。		笠井	
第12回	当事者の体験 ～発症・入院から地域生活まで～			事前学修（60分）：教科書の該当部分を精読する。 事後学修（60分）：授業の内容をノートにまとめる。		石川	
第13回	精神看護学領域における看護過程について 精神機能のアセスメント 生活機能のアセスメント（オレム・アンダーウッド理論の活用）			事前学修（60分）：教科書の該当部分を精読する。 事後学修（60分）：授業の内容をノートにまとめる。		石川	
第14回	精神に障害をもつ患者の理解：DVD「ビューティフル・マインド」を視聴①			事前学修（60分）：教科書の該当部分を精読する。 事後学修（60分）：授業の内容をノートにまとめる。		石川	
第15回	精神に障害をもつ患者の理解：DVD「ビューティフル・マインド」を視聴②			事前学修（60分）：教科書の該当部分を精読する。 事後学修（60分）：授業の内容をノートにまとめる。		石川	
成績評価の方法と基準		授業態度・出席状況 10%、授業レポート 40%、定期試験 50%とします。					

履 修 上 の 留 意 点	・授業態度としては、自ら考え学ぶ姿勢を大切に自己責任の基に考え、行動するようにしてください。 ・授業には予習・復習をし、常に問題意識を持ち、自己の課題を明確にし、実習につなげていけるように授業参加することを期待しています。 ・授業開始から20分までの入室は遅刻とします。遅刻3回、または20分以降の入室は、欠席相当とみなし、授業態度より減点とします。
ディプロマ・ポリシーとの関連	本科目は、看護学部のディプロマポリシーの 4, 5, 6 と関連しています。
教 科 書	1. 吉松和哉 小泉典章 川野雅資編：精神看護学Ⅰ精神保健学，ヌーヴェルヒロカワ 2. 川野雅資監修：精神看護学Ⅱ精神臨床看護学，ヌーヴェルヒロカワ
参 考 書 ・ 参 考 資 料	授業内で適宜紹介、配布します。
学 生 と の 連 絡 方 法	石川幸代 オフィスアワー：水（13:00 ～ 14:00） 原田 瞳 オフィスアワー：火（11:00 ～ 12:00） 笠井翔太 オフィスアワー：火（16:00 ～ 17:00）
実 務 経 験 科 目	臨床における精神看護の実践経験をもとに、必要な知識・技術の基本について指導します。

授業形態	開講学部	看護学部		必修	1	演習	
	3年次	開講期	前期	ディスカッション	有	学外授業	無
授 業 科 目 （ 英 名 ）	精神看護支援論Ⅱ（ Psychiatric Nursing Ⅱ ）						
担 当 教 員 名	◎原田 瞳・笠井 翔太・石川 幸代 （◎は科目責任者）						
〔 授業の概要 〕 精神機能に障害をもつ人に必要な治療的介入や看護技術を、法律・制度を踏まえた上で、実際の演習やグループワーク等を通して、看護実践について考える。精神看護学領域で用いられる看護理論を学び、事例を通して看護過程の展開について学習を深め、精神機能に障害をもつ人とその家族に必要な看護、支援について、その人がその人らしく生活を送ることができるという視点から学習する。							
〔 科目の位置付け（全学年を通しての関連科目） 〕 精神保健、精神看護学概論、精神看護支援論Ⅰでの学びをもとに、精神看護における対象への支援の方法について理解を深め、精神看護学実習につながるものです。							
〔 到達目標 〕 1. 精神機能に障害をもつ人に必要な治療的介入や看護技術を、法律・制度を踏まえた上で、実際の演習やグループワーク等を通して、看護実践について考えることができる。 2. 精神看護学領域で用いられる看護理論を学び、事例を通して看護過程の展開について学習を深めることができる。 3. 精神機能に障害をもつ人とその家族に必要な看護、支援について、その人がその人らしく生活を送ることができるという視点から考えることができる。							
以上の3項目です。							
回	授業計画			授業外学修 （事前学修・事後学修）		担当者	
第1回	精神看護支援論Ⅱでは何を学ぶのか？ 授業ガイダンス 精神機能の障害と看護（復習） 精神に障害をもつ人の看護過程について			事前学修（60分）：精神看護学概論、精神看護支援論Ⅰで学んだことを復習する。 事後学修（60分）：授業の内容をノートにまとめる。		原田・笠井・石川	
第2回	精神に障害をもつ患者の看護過程①			事前学修（60分）：統合失調症について教科書を精読する。 事後学修（60分）：授業の内容をノートにまとめる。		原田・笠井	
第3回	精神に障害をもつ患者の看護過程②			事前学修（60分）：統合失調症について教科書を精読する。 事後学修（60分）：授業の内容をノートにまとめる。		原田・笠井	
第4回	精神に障害をもつ患者の看護過程③			事前学修（60分）：統合失調症について教科書を精読する。 事後学修（60分）：授業の内容をノートにまとめる。		笠井・原田	
第5回	精神に障害をもつ患者の看護過程④			事前学修（60分）：前回の授業の復習をする。 事後学修（60分）：授業の内容をノートにまとめる。		笠井・原田	
第6回	精神に障害をもつ患者の看護過程⑤			事前学修（60分）：前回の授業の復習をする。 事後学修（60分）：授業の内容をノートにまとめる。		原田・笠井	
第7回	精神に障害をもつ患者の看護過程⑥			事前学修（60分）：前回の授業の復習をする。 事後学修（60分）：授業の内容をノートにまとめる。		笠井・原田	
第8回	精神に障害をもつ患者の看護過程⑦			事前学修（60分）：前回の授業の復習をする。 事後学修（60分）：授業の内容をノートにまとめる。		笠井・原田	
第9回	精神に障害をもつ患者の看護過程⑧			事前学修（60分）：前回の授業の復習をする。 事後学修（60分）：授業の内容をノートにまとめる。		原田・笠井	
第10回	精神に障害をもつ患者の看護過程⑨			事前学修（60分）：前回の授業の復習をする。 事後学修（60分）：授業の内容をノートにまとめる。		原田・笠井	
第11回	ウィーデンバックの再構成①【演習】			事前学修（60分）：前回の授業の復習をする。 事後学修（60分）：授業の内容をノートにまとめる。		笠井・原田	
第12回	ウィーデンバックの再構成②【演習】			事前学修（60分）：前回の授業の復習をする。 事後学修（60分）：授業の内容をノートにまとめる。		笠井・原田	
第13回	精神看護学実習にむけて①【演習】			事前学修（60分）：前回の授業の復習をする。 事後学修（60分）：授業の内容をノートにまとめる。		原田・笠井・石川	
第14回	精神看護学実習に向けて②【演習】			事前学修（60分）：前回の授業の復習をする。 事後学修（60分）：授業の内容をノートにまとめる。		原田・笠井・石川	
第15回	精神看護の課題と展望 精神看護支援論Ⅱのまとめ			事前学修（60分）：前回の授業の復習をする。 事後学修（60分）：授業の内容をノートにまとめる。		原田	

成績評価の方法と基準	授業態度・出席状況 10%、授業内課題 80%、レポート10%とします。
履修上の留意点	・授業態度としては、自ら考え学ぶ姿勢を大切にして自己責任の基に考え、行動するようにしてください。 ・授業開始から20分までの入室は遅刻とします。遅刻3回、または20分以降の入室は、欠席相当とみなし、授業態度より減点します。 ・授業には予習・復習をし、常に問題意識を持ち、自己の課題を明確にし、実習につなげていけるように授業参加することを期待しています。
ディプロマ・ポリシーとの関連	本科目は、看護学部のディプロマポリシーの 4, 5, 6 と関連しています。
教科書	1. 吉松和哉 小泉典章 川野雅資編：精神看護学Ⅰ精神保健学，ニューヴェルヒロカワ 2. 川野雅資監修：精神看護学Ⅱ精神臨床看護学，ニューヴェルヒロカワ
参考書・参考資料	授業内で適宜紹介、配布します。
学生との連絡方法	原田 瞳 オフィスアワー：火（11:00 ～ 12:00） 笠井翔太 オフィスアワー：火（16:00 ～ 17:00） 石川幸代 オフィスアワー：水（13:00 ～ 14:00）
実務経験科目	臨床における精神看護の実践経験をもとに、精神機能、セルフケアのアセスメントを中心に指導をします。

授業形態	開講学部	看護	必修	2単位	講義		
	2年次	開講期	後期	ディスカッション	有	学外授業	無
授 業 科 目 （ 英 名 ）	公衆衛生看護活動論Ⅰ（Public Health NursingⅠ）						
担 当 教 員 名	◎霜山 薫・神庭 純子・伊藤 千春・石井 可奈 （◎は科目責任者）						
〔 授業の概要 〕 地域における公衆衛生看護活動を展開するための知識と技術を学修します。 特に対象・健康課題に応じた活動方法や組織化活動の方法について学修します。							
〔 科目の位置付け（全学年を通しての関連科目） 〕 専門科目の健康支援看護分野に位置づく科目であり、公衆衛生看護学概論、公衆衛生看護活動論Ⅱ・Ⅲ、公衆衛生看護活動展開論Ⅰ・Ⅱ や支援基礎看護分野の家族看護論とも深く関連しています。							
〔 到達目標 〕 1. ライフステージ別の対象に対応した公衆衛生看護活動について理解する 2. ライフステージ別の対象に対応した公衆衛生看護活動方法について理解する 3. 生活集団の特性や健康課題に応じた公衆衛生看護活動について理解する							
回	授業計画			授業外学修 （事前学修・事後学修）		担当者	
第1回	〔母子保健活動（1）〕 母子保健の概要について理解し、わが国の母子保健の動向と保健計画について理解する			事前学修(90分)：教科書の目次を確認し、科目の概要を理解する。教科書P255-261を精読する。 事後学修(90分)：母子保健の概要、母子保健の動向と保健計画についてまとめる。		霜山	
第2回	〔母子保健活動（2）〕現在の母子保健施策の概要を知り、実際の保健指導、健康診査について理解する			事前学修(90分)：教科書P261-268、配付資料を精読する。 事後学修(90分)：母子保健施策の概要、保健指導、健康診査等について整理する。		霜山	
第3回	〔母子保健活動（3）〕妊産婦の健康と保健指導、児童虐待、生涯を通じた女性の健康支援、リスクを持つ母子への支援について理解する			事前学修(90分)：教科書P261-285、配付資料を精読する。 事後学修(90分)：妊産婦の健康と保健指導、女性の健康支援、リスクを持つ母子への支援について整理する。		霜山	
第4回	〔成人保健活動（1）〕成人保健の概要について理解し、わが国の成人保健施策の方向性と現状について理解する			事前学修(90分)：教科書P281-286を精読する。 事後学修(90分)：配布資料等を活用して成人保健の概要、成人保健施策の方向性と現状等についてまとめる。		伊藤	
第5回	〔成人保健活動（2）〕健康増進事業における成人保健活動の実際を知り、地域の成人期の対象者に対する保健師活動について理解する			事前学修(90分)：教科書P286-295、配付資料を精読する。 事後学修(90分)：地域の成人期の対象者に対する健康増進事業における保健師活動についてまとめる。		伊藤	
第6回	〔成人保健活動（3）〕成人期の主な生活習慣病と保健指導について理解し、実践につなぐ			事前学修(90分)：教科書P295-307、配付資料を精読する。 事後学修(90分)：成人期の主な生活習慣病と保健指導について整理する。		伊藤	
第7回	〔高齢者保健活動（1）〕高齢者保健の理念及び保健・福祉の変遷をふまえて高齢者保健の現状について学習する			事前学修(90分)：教科書308-318を精読する。 事後学修(90分)：高齢者保健の理念、高齢者保健の現状についてまとめる。		石井	
第8回	〔高齢者保健活動（2）〕高齢者の健康状態と生活特性をふまえて高齢者保健活動の実際について学習する			事前学修(90分)：教科書319-324、配付資料を精読する。 事後学修(90分)：高齢者保健活動の実際についてまとめる。		石井	
第9回	〔高齢者保健活動（3）〕高齢者の健康状態と生活特性をふまえて高齢者保健活動の実際について学習する			事前学修(90分)：教科書324-331、配付資料を精読する。 事後学修(90分)：事例を通して学修したリスクを持つ高齢者及び家族への支援について整理する。		石井	
第10回	〔ケースマネジメント〕ケースマネジメントの概念を学び、制度とシステムおよび保健師の役割と機能について理解する			事前学修(90分)：教科書P193-198を精読する。 事後学修(90分)：ケースマネジメントにおける保健師の役割と機能について整理する。		石井	
第11回	〔感染症保健活動（1）〕感染症保健活動の理念及び施策の変遷をふまえて地域保健活動及び保健師活動の概要について学習する			事前学修(90分)：教科書P387-402を精読する。 事後学修(90分)：地域における感染症保健活動の概要について整理する。		神庭	
第12回	〔感染症保健活動（2）〕主な感染症（HIV/AIDS、インフルエンザ、結核）と保健師活動の概要について学習する			事前学修(90分)：教科書P402-430、配付資料を精読する。 事後学修(90分)：感染症（HIV/AIDS、インフルエンザ、結核）と保健師活動の概要について整理する。		神庭	

第13回	[産業保健活動] 産業保健における健康問題、産業保健の活動体制を理解し保健師の役割と活動内容を学習する	事前学修(90分)：教科書P491-515を精読する。 事後学修(90分)：産業保健における健康問題、産業保健の活動体制、保健師の役割と活動内容について整理する。 科目の振り返り・まとめをする。	伊藤
第14回	[学校保健活動] 学校保健における主な健康問題と活動の体制及び養護教諭の業務内容の概要を学習する	事前学修(90分)：教科書p475-490を精読する。 事後学修(90分)：学校保健の健康問題と活動の体制、養護教諭の業務内容の概要について整理する。	神庭
第15回	[口腔保健活動] 歯科保健の理念、歯科保健対策の変遷とその現状をふまえて保健師活動の実際について学習する	事前学修(90分)：教科書P431-439を精読する。 事後学修(90分)：歯科保健の理念、歯科保健対策の変遷と現状、保健師活動の実際について整理する。	霜山
成績評価の方法と基準		発表やコメント票による授業理解度の確認10%、試験70%、レポート20% を基に総合的に評価します。	
履修上の留意点		・教科書は必ず持参してください。私語は慎んでください。 ・課題提出の際は期日を厳守してください。	
ディプロマ・ポリシーとの関連		本科目は、看護学部ディプロマポリシーの3, 4, 5と関連しています。	
教科書		鳩野洋子・神庭純子編（2024）「改訂第6版 公衆衛生看護学.jp」（インターメディカル、東京）	
参考書・参考資料		厚生統計協会編「国民衛生の動向」 2024/2025 他、授業の中で適宜紹介します。	
学生との連絡方法		霜山 薫 水（12：30～13:30）、木（16：00～17:00）、伊藤 千春 水（12：30～13:30）、木（16：00～17:00）、神庭 純子 火（12：30～13:30）、木（16：00～17:00）、石井 可奈 水（12：30～13:30）、木（16：00～17:00）に設定しています。 また、授業終了後に教室にて質問を受け付けます。	
実務経験科目		行政における保健師としての経験を基に公衆衛生看護活動を展開するための知識技術を実践的に指導する。	